



事業部門の戦略

市場事業部門



執行役副社長
市場事業部門長

小池 正道

市場事業部門実績

	2023年度	前年比 ^{*1}
業務粗利益	5,262億円	+644億円
経費	1,653億円	+148億円
ベース経費	985億円	+32億円
業務純益	3,899億円	+498億円
当期純利益	2,729億円	+348億円
ROCE ¹ *2	17.8%	+2.1%
リスクアセット	7.9兆円	+1.9兆円

*1 為替影響等調整後ベース *2 含むバンキング勘定の金利リスク見合い

主要戦略

「3つのI」によって、世の中の本質・トレンドを見極め

ダイナミックにポートフォリオを入れ替え、収益を極大化

複雑化・高度化するお客さまのニーズに対応

さまざまな要因による調達環境の変化を察知

バランスシートの安定性確保に重点を置いて運営

**マーケットリスクのプロフェッショナルとして、
自らのリスクテイクを深化させるとともに、
お客さまに対して高い付加価値を
持続的に提供していくことを目指します。**

市場事業部門は、外国為替・デリバティブ・債券・株式等の市場性商品を通じたソリューション提供をはじめ、バランスシートの流動性リスクや市場リスクを総合的に管理するALM業務を行っています。

その業務において我々が最も重視していることは、世界中で起こるさまざまな事象を「3つのI」ーInsight(洞察力)、Imagination(想像力)、Intelligence(情報力)によって深く分析し、これから起こる相場を読み解くこと、すなわち、世の中の本質を見抜く力です。

現在、世界の分断化等を背景としたパラダイムシフトによって、誰もが、過去30年以上経験することのなかった新たなマーケット環境に直面しています。さまざまな場面において従来の考え方が通用しなくなることも想定されますが、我々は、この新たな環境に柔軟に対応し、先行きを見据えて果敢に行動していくことで、絶えず進化を続けていきます。

2023年度は、米欧の利上げが止まった一方、日本は金融政策正常化に舵を切り、市場参加者の思惑等によって先進国の金利や株価は大きく変動しましたが、我々のポートフォリオ運営では適切にリスクをコントロールしつつ投資機会を着実に捉えて収益を計上しました。また、安定した外貨調達によりお客さまを資金繰り面で支えるとともに、S&Tのグローバル連携体制を強化し、お客さまに最適なソリューションを提供してきました。

我々は、このような経済的価値の追求だけでなく、社会的価値の創造にも積極的にかかわっていきます。従来行ってきたグリーンボンド発行に代表されるGX支援に加え、社会全体の金融リテラシー向上や資産運用業界の活性化といった新たな分野においてもさまざまな取組を推進していくことで、お客さまや従業員の「幸せな成長」を後押ししていきます。

市場事業部門

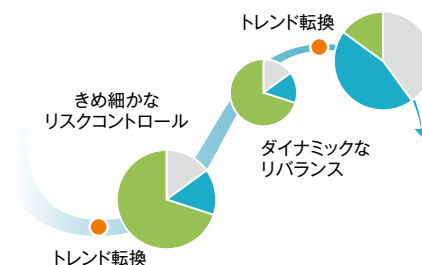
市場環境の変化に応じた 機動的なポートフォリオ運営

我々の強みは、マーケットの変動をプロアクティブに察知し、相場のトレンドを捉えることで、ダイナミックにポートフォリオを入れ替えて収益を極大化する力です。

事業部門の一人ひとりが日々起こるさまざまな事象を「3つのI」で情報収集・分析し、徹底的に議論を重ねる、そうして描いたシナリオをポジションとして表現し、その効果を検証する。こうした不断のサイクルによってのみ相場を読み解く力は養われます。パラダイムシフトによって従来とは全く異なる相場環境に置かれていることを認識し、引き続き収益機会を的確に捕捉していきます。

また、我々の強みである運用力を活かして、三井住友DSアセットマネジメントにおいて絶対リターン型のグローバルマクロ運用を開始しています。このような取組を通じて、「貯蓄から投資へ」という流れを推進し、金融リテラシー向上を後押しするとともに、資産運用業界全体の地位底上げに貢献することで、社会的価値を創造していきます。

ポートフォリオ・リバランスのイメージ

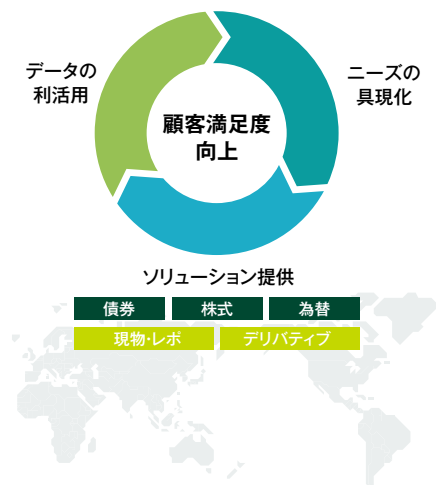


市場性商品を通じたソリューション提供力の強化

パラダイムシフトによって、お客さまもさまざまな影響を受けています。お客さまのビジネスやバランスシートに起因するリスクヘッジニーズ、運用や投資を行う際のリスクテイクニーズに応えるべく、グローバルでの一体運営を加速し、ソリューション提供力を高めています。

具体的には、多様なデータを利活用することで、お客さまの潜在的なニーズを具現化していくとともに、多様なニーズへ適切に対応すべくオーダーメイドな提案力を磨いています。今後、電子プラットフォームとの連携等を通じた分析の高度化も進めていきます。また、独自性のあるソリューションの提供によって、従来とは異なる側面からお客さまの経営戦略をサポートしていくことに挑戦しています。

このように、お客さまのビジネスを起点に日本の再成長を後押ししていくことで、社会的価値を創造していきます。



頑健な外貨調達基盤の構築

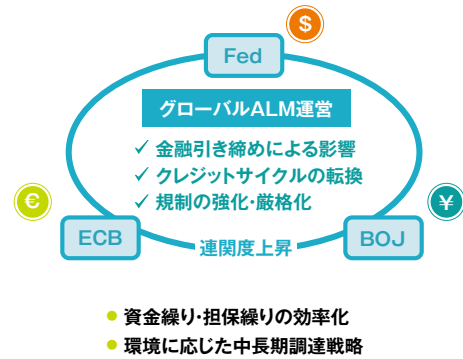
貸出等を通じてお客さまのビジネスを持続的に支えるべく、外貨調達においては、引き続き安定性確保とコスト抑制の両立を追求しています。

具体的には、定期的な外貨建債券の発行に加え、カバードボンドの発行やクロスカレンシーレポ（国債等を担保とした外貨調達）の取組等、調達手段の多様化や投資家層の拡大を図りながら、SMBCグループのバランスシート構造やマーケット環境に応じた戦略的な調達を行っています。

今後も、米欧等における金融引き締め政策の継続、当局による規制の強化・厳格化、地政学リスクの顕在化等、調達環境への逆風は続きますが、グローバル連携の下で、長期的な視点に立ってプロアクティブに対応し、安定的なバランスシートコントロールを進めていきます。

また、調達した資金の使途を再生可能エネルギー等の環境に配慮したプロジェクトに限定した、いわゆるグリーンボンドを定期的に発行しています。2015年10月に本邦民間金融機関として初の米ドル建グリーンボンドを発行して以来、2018年12月には本邦民間企業初の個人投資家向け、2021年1月には米国における公募形式での発行を通じて、投資家層の拡大に努めています。これまで国内外で8回、計約36億米ドル相当の資金を調達しており、発行に際しては、投資家に対して我々のサステナビリティへの取組を丁寧に説明し、相互理解に努めています。

今後も、日本を代表するグリーンボンドの発行体として、市場のさらなる発展と地球環境の維持・改善に貢献していくことで、社会的価値を創造していきます。



日本の再成長／貧困・格差／少子高齢化



運用人材供給

運用業界の底上げ

本邦金融業界の
発展をサポート

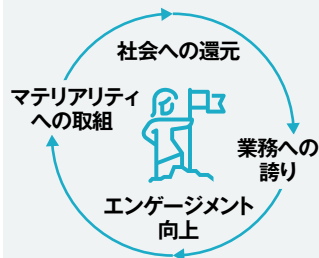


寄附講座

金融リテラシー向上

資産形成を
サポート

DE&I



環境

サステナブル
ファイナンス



グリーン調達や
顧客セミナーを通じて支援